

おとまりと

今回のテーマは、若者の“しんどさ”と“止まり木”（休める・頼れる・安心して過ごせる場）。
“もやもや”することが多い中で、「ありのままで良いんだ」「誰かに頼っていいんだ」「ここに居てもいいんだ」
などと思えたり、“しんどさ”との付き合い方や“止まり木”を知り、今後に安心感を抱くキッカケになるよう開催します。



2025 12.14 日 13:00-17:00
(16:15 - 交流会 ※自由参加) 参加費無料

令和7年10月発行 京都市印刷物第071559号（京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部育成推進課）



京都市ユースサービス協会は、
若者とともに未来を描き、若者が生きやすい社会をつくります。

13:00 - 14:30

全体会



オープニングアクト

「若者目線の表現 × “しんどさ”」

トークセッション

「若者の“しんどさ”と“止まり木”」

- 若者 2 名
- 認定 NPO 法人 D×P (ディーピー) 野津 岳史 氏
- (公財) 京都市ユースサービス協会 清水 方人

contents

毎週京都駅八条口近辺に集まりフリースタイルラップを行う若者たち「京都駅サイファー」が若者の“しんどさ”をラップで表現

どのようなしんどさがあり、どう付き合っているのか、自身にとっての“止まり木”とは、など若者が語ります。
また、若者をサポートする団体からは、出会ってきた若者たちにあるしんどさの現状をお伝えします。

14:40 - 16:00

分科会

フリー参加エリア

①～④の分科会、フリー参加エリアから選んでご参加ください。
(申込時に、第 2 希望までお知らせください。)

※プログラムにより時間が異なります。詳しくは、申込フォームや HP をご確認ください。

定員
20 名程度

①分科会

聞きたい！喋りたい。

【全体会】トークセッション「若者の“しんどさ”と“止まり木”」を受け、登壇者とともに語り合います。



定員
30 名程度

②分科会

「からだ」もうごかす、「こころ」はどうなる？

身体と心を感じ、誰かと共有することの心地よさを感じるコミュニケーションワークです。

ナビゲーター：隅地 菜歩氏・阿比留 修一氏 (セレノグラフィカ)



定員
20 名程度

③分科会

しんどさどう付き合う？

しんどさに振り回されないように、しんどさを理解し、うまく対処する方法を一緒に考えましょう。

ナビゲーター：秦寛志氏 (公認心理師)



定員
30 名程度

④分科会

安心できる“止まり木”ってどんな？

実際に“止まり木”を見つけた若者が、おすすめポイントやつながった経緯などを紹介します。

今後“止まり木”を探すきっかけに。

ナビゲーター：恩庄 香織氏 (ゆりいか研究会)



フリー参加エリア
「止まり木カフェ」

青少年活動センターのロビーのような、自由にゆったり過ごせるエリアです。AI 相談体験、参加型ボード (掲示) もお楽しみください。

- 居場所カフェ
お茶を飲みながら、ユースワーカーやボランティアと一緒にしゃべりしたりして過ごせるカフェコーナーです。
- ユース保健室
「NPO フラット」「子ども・若者総合相談窓口」のスタッフが常駐しており、相談することができます。
- 情報コーナー
“止まり木”となりうる地域団体や、こども家庭庁などによる情報を紹介するコーナーです。

16:15 - 17:00

交流会

会場 北青少年活動センター

参加者・協力者みんなで交流します。(自由参加)
“止まり木”となりうる場所、青少年活動センターを見学します。



ユースシンポジウム 2025
～もやもやと止まり木～ご参加について

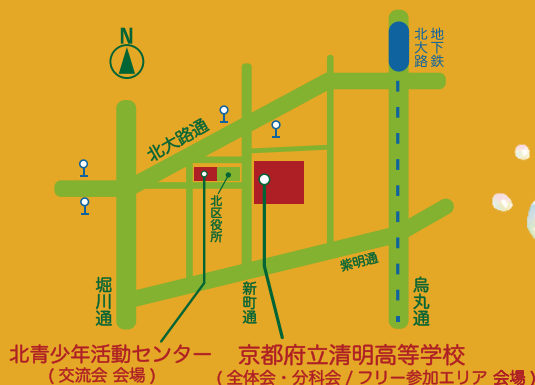
- 申込方法 11月1日(土)から、二次元コードの HP から申込フォームへ、もしくは電話・FAX・E-mail のいずれから、下記必要事項を入力の上、お申込みください。
- 必要事項 氏名、電話番号、E-mail アドレス、年齢
- 申込・問合せ先 ①～④の分科会、フリー参加エリアのうち、第 2 希望までお知らせください。
北青少年活動センター
TEL : 075-451-6700 FAX : 075-451-6702 E-mail : kita@ys-kyoto.org
HP : <https://www.ys-kyoto.org/kita/>

会場へのアクセス

地下鉄烏丸線『北大路』駅より徒歩 7 分
市バス『北大路新町』より徒歩 3 分

京都府立清明高等学校
〒603-8163 京都市北区小山南大野町

北青少年活動センター
〒603-8165 京都市北区紫野西御所田町 56
北区総合庁舎西庁舎 3・4 階



申込はこちら



※HPから申込フォームへ

